



民生委員・児童委員  
のシンボルマーク

# のぼそう愛の手

戸塚区民生委員児童委員協議会

第26号  
H29.9.21発行



戸塚区のスコット  
ウサギ

## 見てみよう!

※『民生さん』こと民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委嘱され、地域の福祉を担っています。

# 民生さんの1ヶ月

先日の  
ご相談の件で



担当地区の訪問活動

こんな企画  
どうかしら?



“のぼそう愛の手”の編集

いいですね!!

これからも、  
笑顔と優しさを  
忘れずに活動を  
していきます。

訪問活動などを通して、  
地域の方の笑顔に接し  
信頼関係を築くことができたとき、  
「民生委員をやってよかったな」  
と感じます。

## 民生委員・児童委員活動

- 訪問件数 5件～28件/月
- 会議出席 2件/月
- 行事参加 0.5件/月など

## 仕事・家事・子育て

- パート・アルバイト…12日/月
- 職種…飲食関係・販売関係・  
福祉関係・事務など



## 趣味・ボランティア

- 趣味などにかかる時間…4日/月
- 内容…ダンス・合唱・手芸  
地域ボランティア・  
ウォーキング・スポーツ  
など



1ヶ月、自分に合ったスタイルで  
委員活動に取り組んでいます!



※件数などは“のぼそう愛の手”編集委員会調べ 地域差・個人差があります。

## ◆地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

## 新しい街 元気な街

東戸塚地区会長 大副 祥一

東戸塚地区は、昭和55年のJR「東戸塚駅」開業以来、都市開発が進み人口も急増しました。

自治会町内会に未加入の世帯も多く、情報提供の方法などに悩みはありますが、それをカバーするのが民生委員の役目だと自負して頑張っています。そして、今まで以上にきめ細かな対応ができるよう、民生委員の新しい仲間を探しているところです。

子育て中の世帯の転入が多い街であることも東戸塚地区の特色です。

主任児童委員（児童を担当する民生委員）が運営する子育て支援サークル「しゅっぽっぽ」には、毎回たくさんの親子が参加しています。

また、戸塚区地域福祉保健計画（以下、「とつかハートプラン」）の推進のため、また、新一年生への見守りや声かけのきっかけ作りとして、手作りの「こころん人形」（ハートプランマスコット）をランドセルに付けています。（写真右）

そして、区内の一年生が使用するランドセルカバーのイラストに「こころん」を提案し、今年度から新しいランドセルカバーで元気に登校してもらっています。



高齢者の皆さんの食事は、年4回東戸塚地域ケアプラザで開催します。警察署や消防署の方の講話の後に「お楽しみ演芸会」を開催しています。興にのり踊り出す人までいる楽しい催しです。

また、高齢者のお宅を訪問する際には、チラシ「お元気ですか」をお配りしています。季節ごとの情報提供とともに、裏面で地域の「おじさんボランティア助っ人隊」などをPRし、「ちいさな困りごと」の解決へつないでいきたいと考えています。

地区では、毎年、「凧揚げ大会」、「体育大会」、「盆踊り」などを通じて大変盛り上がります。これからも、子どもや高齢者の皆さんを応援するとともに、人々のつながりを大切に、絆を深めていくために、民生委員活動を続けていきます。



冬の風物詩 凧揚げ大会  
～立派な連凧が天空を泳ぎます～

## ◆地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

## 新たな取組 “舞クラス”

舞岡地区主任児童委員 山岸 夕起子

舞岡地区の主な活動には、ひとり暮らしの高齢者の方などに向けた食事会「かすみ草の会」があります。舞岡地区センターで、協力していただいているボランティアの方の手作りの食事とさまざまな催しを、平成5年から実施してきました。（食事を作っていただくボランティアさんを募集しています。）

また、子育て支援では、乳幼児の親子を対象とした「子育てサロン」を開催していますが、更に平成26年度から新たに加わった活動が「舞クラス」です。

これは、「とつかハートプラン」の推進に取り組む中で、地域の方からの声により開催した「発達障がいって知っていますか？」という講演会をきっかけに、舞岡中学校区・日隈山中学校区（2中学校・5小学校）の個別支援学級に通う児童・生徒の保護者を対象に「つながる・学び合う・生まれ育った地域で暮らす」を目的として、年間計画をたてて行っている活動です。「発達障がいと進路について」や「思春期の性について」、「福祉制度と手帳について」など

